

香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」 活動報告

長谷川 修 一
鶴 田 聖 子

1. はじめに

ユネスコ世界ジオパークは、世界的に重要な地質遺産を多数含み、考古学的・生態学的もしくは文化的な価値のあるサイトも含んだ明瞭に境界を定められた地域で¹⁾、世界的に重要な地質や景観を保護し、地域の価値を共有する教育とともに、地域の持続可能な発展を目指している²⁾。世界ジオパークはユネスコ支援の取組みとして2004年に始まり、2015年からはユネスコの正式プログラムとなった。

日本ジオパークは日本ジオパーク委員会が認定する国内版のジオパークで、2019年1月現在、9ヶ所のユネスコ世界ジオパークと、44ヶ所の日本ジオパークが認定されている³⁾。四国では、室戸ユネスコ世界ジオパーク、四国西予ジオパークが認定されており、また土佐清水市、三好市が認定を目指している³⁾。瀬戸内海には大分県におおいた姫島ジオパークがあるものの、瀬戸内を世界に発信するジオパークはまだ認定されていない。

香川県には、約1400万年前の瀬戸内火山活動によって形成されたサヌカイト等の火山岩類の学術研究、火山岩類が侵食されて形づくられた讃岐平野と備讃瀬戸の造形美、および里山や島の岩石を利用した多様な石の文化があり、これらを組み合わせると香川県は世界に類のないジオパークになると期待される。讃岐ジオパーク構想では、香川県全域をジオパークの対象地域として、讃岐平野と備讃瀬戸の自然・歴史・文化を活かした地域の持続的な発展をめざしている（長谷川ほか、2013）⁴⁾。

筆者らは讃岐ジオパーク構想の推進を目的に、2010年から現在まで継続して香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」を開講し、香川県内の地形・地質と石の文化の魅力を発掘し、讃岐ジオパーク構想に必要なジオサイトの資料を作成するとともに同志の輪を広げる活動を続けている。2013年度までの成果は、香川大学生涯学習研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」（長谷川・鶴田、2013）⁵⁾としてとりまとめた。また2014年度と2015年度は、ジオサイトの地形・地質と自然・歴史・文化等との関わりを理解する「讃岐ジオサイト探求」を開講し（長谷川・鶴田、2017）⁶⁾、2016年度からは「讃岐ジオガイド養成講座」を開講している（長谷川・鶴田、2018）⁷⁾。2019年度からは、讃岐ジオガイド養成講座の参加者が案内して各地を探訪する新規講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」を開講している。

本稿では、香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」の活動を中心に2019年度の活動を報告する。

2. 2019年香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」

2019年度の公開講座「讃岐ジオサイト探訪」では、六ツ目山と伽藍山（高松市）、土器川源流から真鈴峠（まんのう町）、醬の郷から洞雲山（小豆島）の3地点を探訪した。この講座は新しいジオサイト候補地を受講者と訪れ、その評価や魅力について現地で検討することを目的としている。

(1) 六ツ目山と伽藍山（高松市）

①探訪日時：2019年4月21日（日）

②受講者数：34名

③コース：六ツ目墓園駐車場→六ツ目古墳→伽藍山登山口→鷺ノ山石製石仏→薬師堂・西行塚→花崗岩の崖→伽藍山山頂→遍照院→六ツ目登山口

④主な見どころ：

高松自動車道の高松西IC西側には六目山、伽藍山、狭箱山が南北方向に並んでおり、地元では「おむすび3兄弟」と呼ばれている。六ツ目山は別名「御厩富士」とも呼ばれる讃岐七富士の1つである。修験道の行場であった伽藍山の崖斜面は、安山岩ではなく花崗岩からできており、この崖から崩落した花崗岩岩塊が、薬師堂周辺に分布している。現地では、崩落した花崗岩岩塊の上の豊島石製のラントウ、登山道の鷺ノ山石製の石仏など、他の地域から運ばれてきた石造物があることを確認した。

(2) 土器川源流から真鈴峠（まんのう町）

①探訪日時：2019年5月19日（日）

②受講者数：34名

③コース：エピアみかど→三霞洞溪谷→落合橋→四つ足堂→土器川源流の石碑→滝ノ奥峠→滝ノ奥上集落→和泉層群泥岩の露頭→阿讃縦走路→真鈴峠→城村神社→地すべりによって破壊された砂岩泥岩互層→クサリ礫化した砂岩岩屑→峰の兵衛の祠と石碑

④主な見どころ：

土器川は讃岐山脈最高峰の竜王山（1059.8m）と大川山（1042.9m）との間を下刻する先行河川で、讃岐山脈が隆起する前から北に流れていたと推定される。土器川の本流は真鈴川とされ、その源流であるまんのう町滝ノ奥峠と真鈴峠では峠から吉野川の流れをみることができる。現地では、約300万年前以降香川県側に四国山地を構成する片岩礫を運搬した河川と讃岐山脈の隆起と中央構造線の断層活動について意見を交えた。また、地形の成り立ちと真鈴峠の借耕牛の往来の関係について思いを巡らせた。

(3) 醬の郷から洞雲山（小豆島）

①探訪日時：2019年6月16日（日）

②受講者数：30人

③コース：マルキン醤油記念館→苗羽散策路→常光寺→林道苗羽線→遍路道との合流点→大規模崩壊堆積物→流紋岩質凝灰岩→碁石山→洞雲山→遍路道→隼山

④主な見どころ：

小豆島八十八ヶ所霊場第1番札所「洞雲山」では、火山角礫岩の崩壊跡を利用して本堂が造られている。洞雲寺は、火山角礫岩の岩肌に差し込む光と影によって、高さ3mほどの観音様が出現する『夏至観音』が有名で、夏至の時期の約50日間のほんの数分だけ岩肌に観音像が浮かび上がる⁸⁾。今回は、夏至観音をみることでできる時期を選定し、運よく拝観することができた。また、なぜ夏至観音が現れるのか、冬至観音は現れるのか、現地で話し合った。

(4) アンケート結果

アンケート結果（図1）によると、「讃岐ジオサイト探訪」は楽しかった、興味が増したと受講者全員

が考えていることがわかる。また、内容についても難しく感じている受講者はおらず概ね分かりやすかったようである。「また参加したい」との回答も多く、実際、毎年受講してくださるリピーターも多い。



ガイダンス（香川大学生涯学習センター）



伽藍山（高松市）



土器川源流の滝の奥峠から望む吉野川（まんのう町）



洞雲山の夏至観音（小豆島町）

写真1 2019年度「讃岐ジオサイト探訪」受講状況

3. 2019年度「讃岐ジオガイド養成講座」

2019年度は2回に渡り讃岐ジオガイド養成講座を行い、座学と受講者によるジオツアーの計画と立案および発表を行った（表1）。受講者にジオツアーを考えてもらうにあたり、小豆島、東讃、高松市、中・西讃と4つの班を作り、9月からの新講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」で探訪する地域のお題と内容を構築した。「讃岐ジオガイド養成講座」の受講生22名のうち、「讃岐ジオサイト探訪」「讃岐ジオサイト探求」「讃岐ジオガイド養成講座」の授業・現地見学に60時間（12回）以上出席の条件をみたす受講者が、香川大学から「讃岐ジオガイド」として認定される。

（1）第1回讃岐ジオガイド養成講座

4月14日に行われた第一回目の讃岐ジオガイド養成講座は、大地の成り立ちから見た讃岐の風土の講義の後、ジオツアーの計画と立案を行った。

(2) 第2回讃岐ジオガイド養成講座

7月7日は外部講師を招いて、四国西予ジオパークの活動状況、四国西予ジオパーク設立に至るまでの準備についてご講演いただいた。今後、ジオパークに認定されるためには何が必要か、他の地域ではどのような行程を経てジオパークに認定されたのか、さらには、ジオパークに認定されてから、どのようなツアーが行われ、どんなところをガイドしているかなど、今後の讃岐ジオパーク構想に必要なアイデアを学んだ。



図1 公開講座「讃岐ジオサイト探訪」受講者アンケート結果

表1 2019年度の「讃岐ジオガイド養成講座」

日 程	内 容
2019年4月14日（日）	10：00-12：00 ガイダンス・「大地の成り立ちから見た讃岐の風土」 講師：長谷川修一（香川大学創造工学部） 13：00-16：00 ジオツアー計画立案
2019年7月7日（日）	10：00-10：50 「ガイドの心得」 講師：長谷川修一（香川大学創造工学部） 11：00-12：00 「ジオパークの現場」 講師：中村千怜（元四国西予ジオパーク専門員） 13：00-14：00 「四国西予ジオパークの立ち上げまでの奮闘記」 高橋 司（四国西予ジオパーク推進協議会事務局長） 14：10-16：00 ジオツアー計画発表

（3）アンケート結果

アンケート結果（図2）によると、概ね高評価であるが、内容理解で「どちらともいえない」と回答している受講者がいた。これは、講座の感想にもあるように、受講者によるジオツアー発表時間が長かったり、説明、解説が専門的すぎたりしたせいかもしれない。

4. 「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」

2019年9月からの新講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」では、新規受講生3名も加わり、合計40名の受講生となった。本講座は讃岐ジオガイド養成講座と連携しており、香川大学が認定した讃岐ジオガイドが事前にお題、行程を決め、現地では讃岐ジオガイドと参加者が一緒に地域の魅力を発見するとともに、それをうまく伝えるガイド方法を工夫していく。また、地域との連携をはかり、地元で讃岐ジオサイト探訪について知ってもらうとともに、地元の方しか知らない話を聞いて交流を深める。

（1）屋島（高松市）

①探訪日時：2019年9月8日（日）

②受講者数：36名

③お 題：屋島は今も島じゃね？

④コ ー ス：血の池（瑠璃宝池）→談古嶺→屋嶋城→豊石→屋島寺→獅子の霊巖→霊巖茶屋→仙遊橋

⑤連 携 先：れいがん茶屋、扇誉亭

⑥内 容：

屋島はかつて島であり、切り立った崖のあるメサ地形、瀬戸内海を見渡せる場所は古代より要害として利用されていた。江戸時代になってから屋島周辺の干潟は塩田として利用されたが、1970年代に埋め立てられて住宅地となっている。現在は陸続きとされている屋島であるが、実際には江戸時代に浚渫されて相引川によって高松本土と隔たれている。備讃瀬戸では島嶼部の海底は潮流による砂礫の移動によって、風化した花崗岩（マサ）が削られた砂が周辺の海底に堆積している。かつてはこの砂地を住処とする「イイダコ」がたくさん獲れたことから、屋島山頂で「イイダコおでん」を売るようになった。「なぜ屋島はイイダコおでんが名物になったのか」をお題にした方が魅力的だったかもしれない。

【H31年度 公開講座受講者アンケート集計結果】

讃岐ジオガイド養成講座(4)

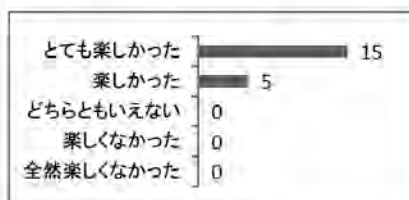
受講生 22名(回答20名) 実施日 7月7日

(全体)

性別	男性	女性						
	18	4						
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
				2	3	3	8	5

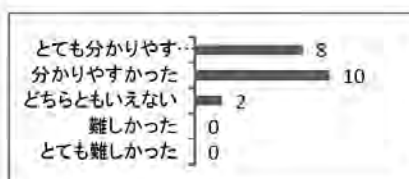
1 講座の感想をお答えください。

とても楽しかった	15
楽しかった	5
どちらともいえない	0
楽しなかった	0
全然楽しなかった	0
無回答	0



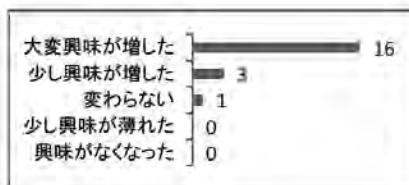
2 内容はよく理解できましたか。

とても分かりやすかった	8
分かりやすかった	10
どちらともいえない	2
難しかった	0
とても難しかった	0
無回答	0



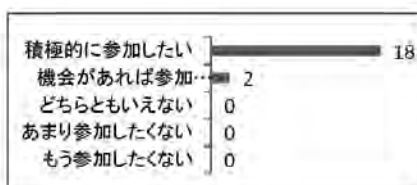
3 テーマへの興味が増しましたか。

大変興味が増した	16
少し興味が増した	3
変わらない	1
少し興味が薄れた	0
興味がなくなった	0
無回答	



4 また参加したいと思いますか。

積極的に参加したい	18
機会があれば参加したい	2
どちらともいえない	0
あまり参加したくない	0
もう参加したくない	0
無回答	



5. 講座の感想など ご自由にお書きください

- ・土地柄、地下水、水利にも注目したい。全ての地域とつながりがあるはず。(70代)
- ・「防災」と「ジオ」の両方の名前がついた講座を持っていただくと、地質に興味のない人にも声をかけやすい。対象者の幅が広がると思います。活動が広く知られるのではないのでしょうか。(女性50代)
- ・各講座(特にゲスト)の時、終わりの時点で「1つだけ質問」と言われると質問しにくいので、できれば5分くらいいいので質問タイムをとっていただければと思います。
- ・各チームからの発表では、時間管理をしっかりする方がいいかなと思いました。(男性40代)
- ・説明、解説の工夫を考える等も必要かもしれないと思いました。(男性60代)

図2 公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」受講者アンケート結果



ジオパークの現場（講師：中村千怜）



四国西予ジオパークの立ち上げまでの奮闘記（講師：高橋 司）



4月14日のジオツアー計画立案



7月7日のジオツアー計画発表

写真2 2019年度「讃岐ジオガイド養成講座」受講状況

⑦アンケート結果（図3、図4）：

アンケート結果によると、クイズ形式で答えを考えていく手法がよかったと回答している受講者が多かった。また、メサ地形の屋島を作った痕跡である畳石（讃岐岩質安山岩の板状節理）の説明、イイダコおでんを取り入れたことの評価が高かった。

第1回目の講座のため、ジオサイトの説明はお題と関連づけてほしい、細かく解説するのではなく自分で考える余地を残してほしい、参加者が多いので次のポイントまで歩くとき班分けをしてほしい、話す内容をコンパクトにまとめてほしい、説明のターゲット設定をするべきであるなどの改善点も寄せられた。初回のため、改善点を全地域のジオガイドが共有して、2回目以降のジオサイト探訪に生かすようにした。

（2）津田湾～雨滝山（さぬき市）

①探訪日時：2019年10月8日（日）

②受講者数：35名

③お題：なぜお山にナマズが泳いでいたのか？

④コース：津田石清水神社→うのべ山展望台→うのべ山古墳→雨滝山→雨滝自然科学館

⑤連 携 先：さぬき市雨滝自然科学館

⑥内 容：

津田は古来より海上航路と沿岸漁業の拠点で、日本有数の基地となっている。今回ジオガイドから紹介された釜揚げシラスも津田湾の名産である。津田湾ではうのべ山古墳に代表される四国で最古級の古墳群とされる津田湾古墳群がある。一方、雨滝山南側の大川地区は農業地帯で、四国地方で最大規模の富田茶臼山古墳がある。これは大川地区と津田湾、津田川を利用して米が搬出されたことと関係しているのではないか、海際にあることから古墳時代には津田が主流の潮待ちの宿場町であったのではないかと、当時の南海道と津田湾は流通ルートがあったのではないかなどの意見が出た。農業地帯と漁業地域に産業を分け隔てた雨滝山では、世界最古のナマズの化石が発見されている。なぜナマズの化石が現在まで残ることができたのかについて、色々と仮説を考えた。

⑦アンケート結果（図5、図6）：

アンケート結果によると、メンバーの協力体制が取れており、説明も工夫されていたところがよかったと回答されていた。土のサンプルを使った説明、立体地図を使った説明などが好評であった。より改善するには、説明者の立ち位置を決めること、長々と説明しすぎないことが挙げられ、今後のジオサイト探訪に反映していきたい。

（3）稲積山の天空の鳥居と室本の麴（観音寺市）

①探訪日時：2019年11月10日（日）

②受講者数：31名

③お 題：なぜ高屋神社に天空の鳥居があるのか？

④コ ー ス：高屋神社下宮→高屋神社中宮→高屋神社上宮（本宮）→室本遺跡→皇太子神社

⑤連 携 先：高室地区連合自治協議会、浅野麴製造所、つくも保存会

⑥内 容：

標高404mの稲積山^{いなづみやま}山頂の高屋神社上宮は、高屋町の水田、有明浜、燧灘を一望できる絶景のスポットで、空に映える鳥居は「天空の鳥居」と呼ばれ、近年たくさんの方が訪れている。11月10日は稲積山の絶景がどのようにできたのかを考え、下の地形と地質を観察しながら参道を登った。また、高屋神社下宮、上宮では宮司から神社の縁起、地元の歴史、言い伝えなどの説明を受け、絶景の高屋神社が復活したいきさつを知った。室本では、500年の伝統を受け継いだ甘酒で知られる浅野麴製造所から丸亀藩による麴免許を見せていただき、なぜ麴の里になったかについて考えた。

⑦アンケート結果（図7、図8）：

アンケート結果では、地域の人たちの説明を聞くことができたことがよい点として挙げられ、地元からの特別参加の協力も興味をもってもらう手段の1つであることがわかった。回を重ねるごとに工夫してよくなってきているが、ガイドはまだまだ長く話す傾向があったとの感想が寄せられた。

（4）中山、肥土山地区の農村歌舞伎（小豆島町、土庄町）

①探訪日時：2019年12月8日（日）

②受講者数：24名

③お 題：なぜ、中山地区と肥土山地区に農村歌舞伎が残ったのか？

④コ ー ス：富丘八幡宮→中山春日神社→肥土山離宮八幡神社→銚子溪→蕪崎海岸→沖島

⑤連 携 先：土庄町教育委員会生涯学習課、中山地区農村歌舞伎保存会

⑥内 容：

小豆島の中山、肥土山地区では今も農村歌舞伎が行われている。農村歌舞伎が行われるようになった経緯、中山、肥土山で稲作が行われるようになった背景を大地の成り立ちと歴史、文化との関係から検討した。また、農村歌舞伎小屋のある春日神社で、中山農村歌舞伎保存会会長から農村歌舞伎の歴史と活動について聞くことができた。

⑦アンケート結果：

アンケート結果（図9、図10）によると、盛りだくさんの探訪であったが、バスを利用したため予定の時間どおりに行程が進んだこと、また普段行くことのない沖島に行くことができ、島の住民に案内いただいたこと、銚子溪まで下りて観察できたことなどが好評であった。中には内容が多すぎると感じる受講生もいたようで、参加者の理解度合いを考慮した説明が必要と思われる。

（5）アンケート結果

香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」のアンケート結果（図11）によると、概ね高評価であり、今まで気づけなかった魅力に気づき、本などと違う実際の情報が得られる講座であることを興味深く感じてもらっている。再受講者が多い講座となっているが、初心者のために地質の基本講座も今後考える必要がある。また、新たな取り組みとして、違う視点のジオツアーを考えたり、地域の連携を強化したりしながら、少しずつ改善されたジオツアーにしていきたい。

5. ジオガイドの認定と活動報告

2018年11月に香川大学公開講座受講者の有志が発起し、「讃岐ジオパーク構想推進準備委員会」が設立され、現在までに8市9町の市町長と面談を行うなど、讃岐ジオパーク構想の活動を本格的に開始している。

香川大学創造工学部主催で行う2020年2月16日（日）のシンポジウムでは、地域住民が中心となって活動を行っている讃岐ジオパーク構想の試みと、香川大学創造工学部防災危機管理コースで取り組んでいる防災まちあるき（ブラハセ）、造形メディアデザインコースのアートの視点から見た地域振興を融合させ、地方創生の新たな連携体制の構築を行っていくものである（図12）。

このシンポジウムでは、「讃岐ジオガイド養成講座」の受講生のうち条件をみたす受講者（関連講座に60時間（12回）以上出席）が、香川大学から「讃岐ジオガイド」として認定され、今後ジオガイドとして活動の場を広げていく予定である。

また、パネルディスカッションでは、香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」の受講生2名が登壇し、山西輝美氏（狛犬探究会会長）は、公開講座を通じて出会った狛犬の魅力、狛犬探究会設立とその活動について、篠原五良氏（観音寺市立伊吹小学校講師）は讃岐ジオサイト探訪の「伊吹島」の資料を用いたジオ学習について成果発表を行った。



屋島山頂（高松市）



雨滝化石層（さぬき市）



稲積山（観音寺市）



中山春日神社（小豆島）

写真3 2019年度「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」受講状況

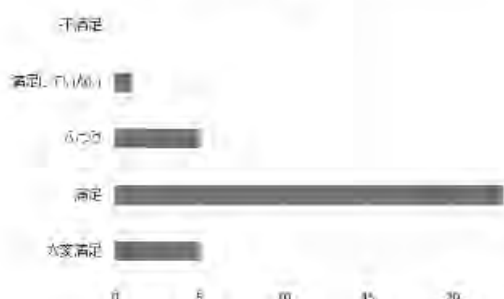
6. おわりに

現在までに香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」で訪問した地点も増え、讃岐ジオサイトの資料も48地点となった。讃岐ジオガイドが活躍する新講座が開講されたことで、讃岐ジオパークをめざす仲間の輪も新たに広がってきている。来年度の香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」では、ガイド技術、コミュニケーション技術などを学習し、更なる讃岐ジオガイドの技術向上をはかる予定である。また香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」は来年度7回実施し、讃岐ジオサイト探訪によってよりよいガイド手法を見つけ出していくとともに、地域との連携を重ねていくことにより、香川大学公開講座の発展と共に讃岐ジオパーク構想を推進していく予定である。

R1.9.8
香川大学
長谷川研究室

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「屋島」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？



2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

- ・ 畳石 (3)
- ・ 獅子の霊巖
- ・ 屋島を色々な角度から説明していた。
- ・ 屋島のすごいところが発見できた。
- ・ 屋島にしかない内容の話が聞けた。
- ・ 屋島の成り立ちがよく分かった。
- ・ 屋嶋城発見の経緯に触れてほしかった。
- ・ 屋嶋城がなぜこの位置にあったのかなど、普段考えもしなかったことの説明が聞けた。
- ・ イイダコ：食を取り入れていてよかった。(2)
- ・ メサ地形、屋島の傾斜、崩壊の様子を実際に歩いて実感したこと。
- ・ 歴史も含めて、普段見落としていた屋島の魅力が分かった。
- ・ 質問形式のところがよかった。(3)
- ・ 下調査や工夫を凝らした説明資料の提示。
- ・ ファイルを持参して、図、写真を使った説明がよかった。
- ・ ヘッドセットで各ガイドの声は聞きやすかった。
- ・ イイダコ！ガイドツアーにA,B級グルメは必須。ジオに関連していたのでさらによし。
- ・ 食文化との結びつきを説明していたのがよかった。
- ・ 屋島の魅力を再認識した。
- ・ 他の人がガイドしているときにサポートができていなかった。
- ・ 休憩施設を利用でき、息抜きタイムを企画できていた。

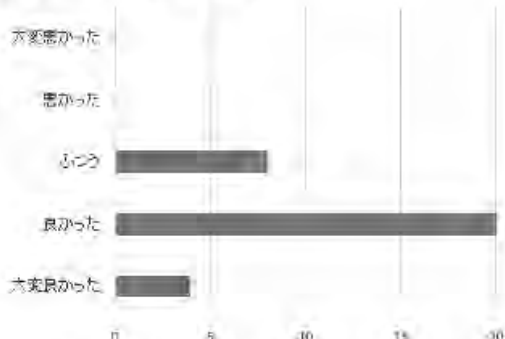
気になる点：

- ・ お題と関連付けないでジオサイトの説明に力を入れて

いるのが気になった。

- ・ 赤牛崎の説明、例えば冠嶽から見下ろすとか山上に登る前に今でも川によって島になっていることを目で確認した方がよかった。
- ・ 畳石の板状節理の形成過程が分かる図式資料がほしかった。
- ・ 血の池はもっとまとめてほしい。
- ・ 島になったり陸になったり、なぜそんなに何度も変わったのか説明が足りなかった。
- ・ 赤牛崎の読みがなぜ「あかば(馬)」になっているのか説明がなかった。
- ・ 屋島山麓に集落が結集され、橋の設置がどのように進んだか不透明だった。
- ・ トイレの案内がわかりにくかった。
- ・ 自分で調べたいような余地を残してくれる方がよい。何もかも詰め込んでしまうと消化不良になりがち。
- ・ 参加者が多いので、ポイントまで歩くと、グループ分けするとよい。
- ・ 安全管理しながら歩いて、参加者の体調を見ながら歩いた方がいい。
- ・ すでに知識のある人たちへの質問や説明が多かったので、よくわからない部分が少なくなかった。
- ・ 説明のターゲット設定。

3. 説明はよかったですか？



4. どの説明がよかったですか？

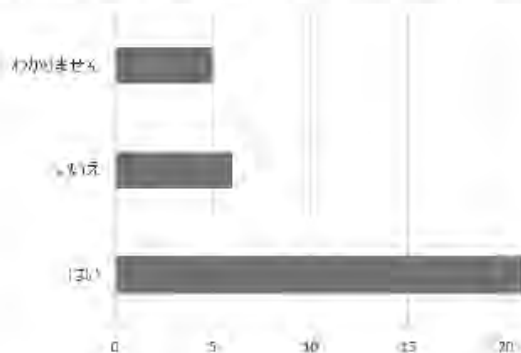
- ・ 談古権：相引川の形成と歴史、塩田跡地の開発の説明
- ・ 畳石 (7)：実際に実物を見ながらの解説は分かりやすかった。屋島寺の屋根と寺勾配に関連付けて「2度拝む」の説明がよかった。
- ・ 獅子の霊岩：昔は遠浅の藻場が繁る海でイイダコが非常に多く捕れた一塩田開発と塩の生産一塩田の衰退と宅地化の説明とイイダコの賞味 (4)
- ・ イイダコがなぜ山頂で名物に？の説明がよかった。

図3 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「屋島」アンケート結果

R1.9.8
香川大学
長谷川研究室

- ・屋島の地形・地質のところでの間違い探しが面白かった。
- ・昔の写真をみて。理解できてよかった。
- ・質問から始まるガイドがよかった。ただし、ヒントをだすなどして、じらす(興味をわかす)工夫が必要。
- ・壺屋茶屋の説明はよかったが、イイダコを食べる時間と重なり聞き取りにくかった。

5. お題「屋島は今も島じゃね？」は適切でしたか？



- ・屋島は今も島やね？
- ・屋島は島に戻った？
- ・昨日は島、今日は陸地、明日はまた島？
- ※「屋島が島」は最後までいしか説明がなかった。

6. ジオガイドによる説明をよりよくするための改善点を教えてください。

- ・ジオサイトの知識を説明するだけでなく、お題に関連付けた説明の工夫が必要である。
- ・仮想のお客様として、ジオ初心者を想定して説明内容を組み立てる。
- ・分かりやすく説明する技術&コミュニケーション技術を学ぶ。
- ・ボタンタッチしたガイドが挙手するなどして、だれが先導するか明確にした方がよい。(2)
- ・説明している方向を指し示した方がよい。(2)
- ・大人数の場合の効率的な説明の仕方考えた方がよい。
- ・それぞれのポイントにおいても、お題に関わる内容があればもっとよかった。
- ・話を聞く人によって、話の内容を少し変えてもいい。
- ・ゆっくりとはっきりと話していただくと分かりやすい。
- ・歩く途中、少し説明があってもよかった。
- ・視点が話をしている人なのか、資料なのかをはっきりした方が聞きやすい。
- ・ばらばらになりやすいので、皆さんが集中する方法を何か考えた方がよいのではないか。

- ・観光ガイド的な場所が多かった。
- ・説明版を有効に利用して効果をだす。
- ・フリップ、イラストを使う。
- ・ジオ的観点との関連をもう少しはつきりしたらよい。
- ・説明者使用のスピーカーの有効活用があればよかった。音を少し大きめで。
- ・質問の項目を多くするよう工夫するとよい。

- ・もっと歴史を調べた方がよい(特に相引川)
- ・話すことをコンパクトに(話すべきことをまとめておく)
- ・見学者の動きを十分把握したうえで説明をお願いしたい。説明する前に全体に声をかけて注目してもらう場を設けることも必要。
- ・説明のポイント数を最初に提示してほしい。「獅子の壺屋」での説明は理解しやすかった。
- ・説明者、資料提示者と分担してもよい。(2)
- ・暑い場合は日陰で。
- ・自信をもってはっきり伝える。
- ・ジオがらみの説明をもっと聞きたかった。
- ・メサのでき方を説明した方がよい。火道はどこか。溶岩はどこを流れてきたのかなど。
- ・地質の説明が欲しかった。
- ・お題を体感するには南嶺「冠が嶺」まで行った方がよい。
- ・談古嶺、獅子の壺屋、平家はなぜ屋島にこもったのかの説明がほしかった。
- ・壺石の板状節理と壺崎城に使われた安山岩の石垣の違いを知りたかった。

7. その他自由記述

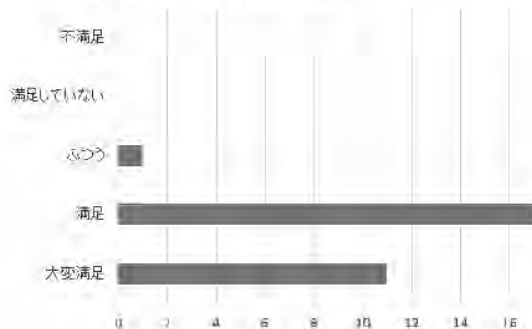
- ・暑かった。日程は9月下旬の方がよかったかも。
- ・初めての参加者、土地勘のない人は香大から同乗する方がよかったのかも。
- ・暑かったので、日陰があつたら聞きやすかった。
- ・血の池、壺石は、お題の関係と今一つ理解できなかった。
- ・最後のまとめも間違いの指摘のみで、お題のまとめがよく聞けなかった。
- ・ジオサイトの言葉の意味が理解できた。
- ・イイダコおでんをジオ食に認定したい。
- ・自分の担当ヶ所はよく調べて説明されていた。
- ・先頭、真ん中、最後とガイドが分かれ、集団をまとめる工夫が必要。
- ・壺島寺の階段の道路管理者は香川県で、現在は県道(主要地方道)14号壺島公園線歩行者専用道路となっている。

図4 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「屋島」アンケート結果2

R1. 10. 6
香川大学
長谷川研究室

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「津田湾～雨滝山」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？



2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

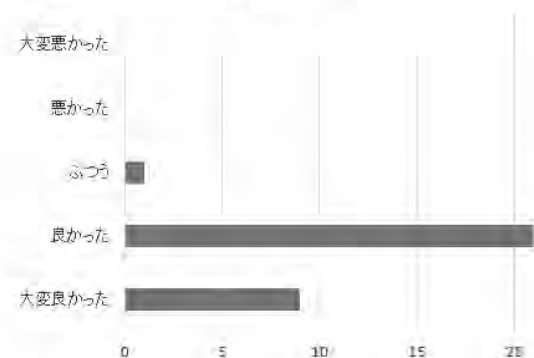
満足：

- ・1人1人が勉強し丁寧に説明していた。
- ・分析結果から持論を話すなど、詳しく知りたい人にとっては興味深い説明ができていた。
- ・説明時、地図だけでなく、立体の山、土のサンプル、梨や長い差し棒を使うなど、工夫がみられた (2)。
- ・津田周辺を海、山から見る事ができた。
- ・ジオの説明が満足。
- ・よく準備し、説明を工夫していた (10)。
- ・津田の成り立ちの説明がよかった。津田港のことがよくわかった。
- ・進行にメンバーがよく協力していた。
- ・雨滝山、津田湾周辺の歴史、ジオがよく分かった。
- ・うのべ山古墳の説明が足りなかった (2)。
- ・4種類の砂を比較してもらえたのがよかった。
- ・ガイド自身の伝えようという熱い思いがわかった。

気になる点：

- ・お昼が遅くなり疲れ気味になった。
- ・説明したい気持ちはわかるが、時間調整が必要である。「時間が押している」というと聞く方も心配になる。
- ・説明が長い。面白い話が多かったが、途中で聞けなくなった。(3)
- ・時間配分に配慮して行程を組み立てるともっとよかった。
- ・レベルが少し高すぎた。一般の方には難しすぎるのではないかな？

3. 説明はよかったですか？



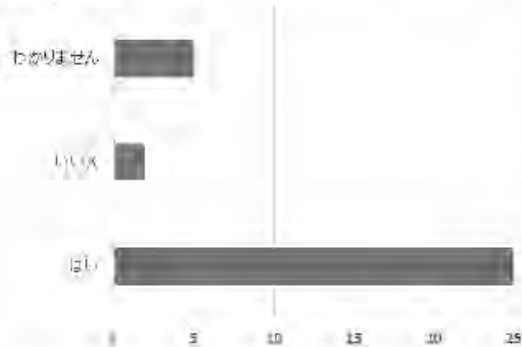
4. どの説明がよかったですか？

- ・津田の松原の説明で展望台から景色を見ながら、土のサンプルも用いて分かりやすかった (2)。
- ・うのべ山展望台で使った断面図がよかった。
- ・雨滝層の説明は図があってわかりやすかった (2)。
- ・森館長の話がよかった。
- ・渡辺さんの説明がよかった。(3)
- ・小学生や素人を対象にするとおもしろそう。
- ・回数を重ねると要領よくガイドができると思う。
- ・松岡氏の説明がよかった。
- ・雨滝城の説明がよかった (2)。
- ・雨滝湖成層の説明がよかった。
- ・雨滝山・火山を屏風にみだてて、立体的に説明したのがよかった。
- ・うのべ山古墳は聞き手を引き寄せる説明だった。
- ・全体的によかった (2)。

図5 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「津田湾～雨滝山」アンケート結果

R1.10.6
香川大学
長谷川研究室

5. お題「なぜお山にナマズが泳いでいたのか？」は適切でしたか？



- ・古代のナマズと今のシラスをつなげるといいかと思った。
- ・「なぜお山にナマズが泳ぐような地域が今日まで発展を遂げることができたのか？」

6. ジオガイドによる説明をよりよくするための改善点を教えてください。

- ・リーダーが最後に副題をまとめて、お題の答えを総括して話してはどうか？ (2)
- ・1カ所当たりの説明をもう少し短く、もしくはポイントを絞って、そのポイントの説明をテーマに関連付けた方がいい。
- ・副題の説明が長すぎる。
- ・参加者にもう少し討論させた方がいい。
- ・内容を絞る。
- ・ある程度セリフを作っておいた方がいい。
- ・説明者の立ち位置を決めると、説明者と聞く人の立場がはっきりする。
- ・時間がかかりすぎでしゃべりすぎの感がある (2)。
- ・ポイントだけ説明すればよい。
- ・説明が過ぎても分かりにくくなる。
- ・資料を持つ役割を最初から決めておく。
- ・時間が足りないときは割愛してもいい。
- ・やさしく分かりやすい説明を心掛けようと思った。
- ・クイズ方式は参加者の参画意識が芽生え、うまいやり方だと思うが、時間ロスが多い。このため、2択、3択方式、場合によっては説明者が答えを言ったりして、定時間内に収める工夫が必要である。
- ・大勢の人がいる場合は、A3判のパネルでは見えにくい。
- ・蚊が多い場所での工夫が必要。
- ・パネルは補足的にして、直接見て触れてもらった方がいい。パネルでばかり説明すると、野外に来た意義が薄まるし、説明も長くなる。
- ・コンパクトな説明にまとめるのは難しいが、印象的な言葉をもっと利用したらいい。

- ・サブテーマの活用をコンパクトにできたらいい。

7. その他自由記述

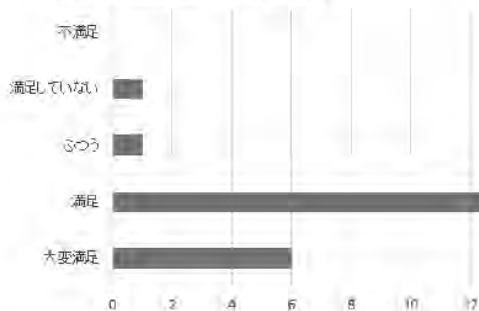
- ・勉強し、工夫して説明ができていて大変良かった (2)。
- ・どこが徒歩かわかると、歩く心の準備ができる。
- ・楽しかった。
- ・食事時間が早い方がよかった。
- ・アンケートで適切な「ジオ食」の価格を聞いてもいい。
- ・雨滝湖に沼地があったことがよくわかった。
- ・連携がとれていた。
- ・自分たちがガイドする難しさがわかった。
- ・説明が詳しく充実していたが、伝えたいことが多くて長くなってしまった。場所ごとに説明の要点がいくつかあるのかを、最初に示していただけると分かりやすい。
- ・カンペを見ながらガイドしても、抜けやミスが多くなるので、何度も予習が必要。

図6 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「津田湾～雨滝山」アンケート結果2

R1.11.10
香川大学
長谷川研究室

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「稲積山の天空の鳥居と室本の麴」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？



2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

満足：

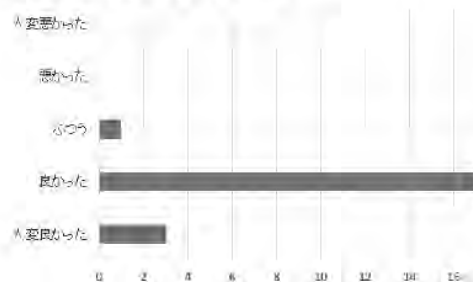
- ・中宮から上宮まで資料をしっかりと利用した説明ができていた。
- ・地域の人から話が聞けた (6)。
- ・キャップロックの安山岩により眺望に優れた立地に鎮座している上宮は多くの参拝者を報いてきたであろうこと。
- ・地元氏子の参拝道の整備活動も聴くことができた。
- ・特別参加の氏子総代や保存会のメンバーの説明も加わったこと。
- ・登りが2班に分かれていたため、聞き漏れがなかった。
- ・地元のゲストの登場で、より詳しく知ることができた。
- ・登山で運動、下山後の1杯の甘酒。
- ・観音寺ならではのジオサイトの話がきけた。
- ・麴の町の理由がよく分かった。
- ・色々な分野の説明が聞けた。
- ・やはり、横山さんの説明はすばらしい。
- ・丁寧な説明でした。
- ・甘酒がいただけた。
- ・思い切り歩いた。
- ・観音寺の状況がよくわかってよかった。
- ・よく歩いた。景色がよかった。
- ・説明がよくわかった。

気になる点：

- ・最初から引継ぎがスムーズでなかった。
- ・ゲストとの打ち合わせが不十分。
- ・お昼が遅くなり疲れ気味になった。
- ・登山に慣れてない人にはきつい。
- ・つくも会とのすり合わせが必要。
- ・マイクが聞き取りにくかった。

- ・全員に説明がいきわたっていたか？
- ・全体行程に対する意思統一が不足だったのでは？

3. 説明はよかったですか？



4. どの説明がよかったですか？

- ・中宮での鈴木さんの説明。
- ・鈴木さんの花崗岩の説明、なるほどそうだったのか (2)。
- ・中宮での解説はパネルが洗練されていた。岩石の化学組成の差による性質など踏み込んだ解説 (4)。
- ・稲積山の説明がよかった。
- ・担当ガイドの調査も十分されていて、補足図面の資料も用意され、理解しやすかった。
- ・室本遺跡の古墳跡で「高度経済成長期に失われたものがある」という説明。
- ・地質の断面図、分かりやすかった。
- ・大川さんの山頂での説明 (2)。
- ・車中で聞いた大川さんの岩石の話が面白かった。
- ・高屋神社の説明がよかった。
- ・横山さんの司会進行

図7 ジョガイドが案内する讃岐ジオサイト「稲積山の天空の鳥居と室本の麴」アンケート結果

R1.11.10
香川大学
長谷川研究室

5. お題「なぜ高屋神社に天空の鳥居があるのか？」は適切でしたか？

わかりません

いいえ

はい

0 2 4 6 8 10 12

- ・高屋神社のお宮は上、中、下、どこにあるの？
- ・天空の鳥居は H21 建立。その前は木の鳥居があり、兄弟 4 人で奉納したなどの話があった。
- ・鳥居の移動は災害と関係しているそうだが、水をキーワードに話をつなげたらいいと思った。

6. ジオガイドによる説明をよりよくするための改善点を教えてください。

- ・もっと事前の調整が必要
- ・最後に今日のまとめをしているのがよかった。
- ・今回のように地元スペシャリストの協力を得る方策も有効な手段である。
- ・ジオの資料作りに年配の方から、昔の伝承を聞いて取り入れる。
- ・説明が長いときがある。
- ・一般向けの説明をした方がよい。
- ・地元の方（九十九保存会）に聞くと、まだまだ眠っている情報がありそうだった。了解を得て、資料に団体問合せを入れた方がいい。
- ・他の人に迷惑にならないように、場所を決めて説明をするとよい。
- ・知識を全部しゃべるのではなく整理し、要点だけ簡潔に説明した方がいい。
- ・地質 6~7 割、地場産業 2~3 割、地元の食べ物 1 割がいいあんばいではないか。
- ・段取りをよくする。
- ・土地の成り立ちからの説明をしてほしい。
- ・後ろの人に聞こえるように前を見て話す。
- ・ガイド説明時には私語をしないように徹底すべきか？
- ・シミュレーションしておく。

7. その他自由記述

- ・回を重ねるごとに、工夫され、だんだんよくなっている (2)。

でも、ガイドって難しい。

- ・高屋神社の総代が「天空の城にあやかった」との説明には驚いたが、がけつぶちに設置された大きな鳥居はそれなりにインスタ映えするし、謎めいたストーリーもできそうである。

- ・400m の行程はきついと思うようになった。天気も良く若い人や家族連れの人が多く「天空の鳥居」が有名になりつつあることを実感した。

- ・香川県は見方を変えればすごいものがたくさんでてる。

- ・最後に麴の許可証がみれてよかった。

- ・天空の鳥居の免状者、麴専売許可証など、貴重な情報を知ることができた。

- ・地元の人が関わって、ジオに理解を示してもらえてよかった。

- ・各地域に地元のために活動している会があることがわかり、うれしく思った。

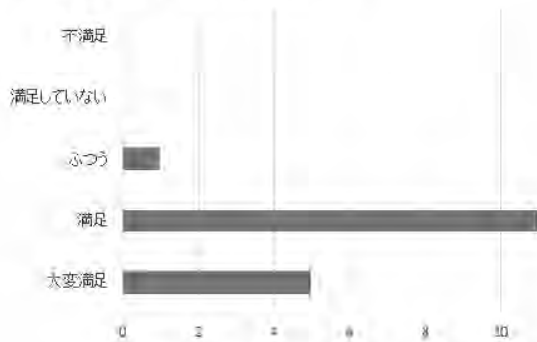
- ・甘酒がおいしかった。

図8 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「稲積山の天空の鳥居と室本の麴」アンケート結果2

R1. 12. 8
香川大学
長谷川研究室

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「中山、肥土山地区の農村歌舞伎」受講者アンケート（結果）

1. 今日の講座はどうでしたか？



2. 満足している点と満足できない点があれば教えてください。

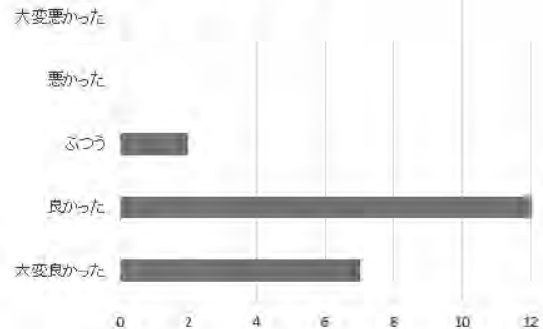
満足：

- ・盛りだくさんだったが、時間内にうまくおさまっていた。
- ・蕪崎海岸で珪化木を拾うことができた。
- ・初めてのバス・渡船移動だった。
- ・コースごとの説明と行程が予定通りすすんだ（2）。
- ・専門家の説明でした。
- ・小豆島の地形がよくわかった。
- ・色々なところを歩けた、見た、拾った。
- ・中山・肥土山の知っているところと、蕪崎・沖島と知らないところの両方でジオサイトの説明を受けられた。
- ・普段訪問できないジオサイトを体験できた。
- ・付属資料で復習ができた。
- ・貴重な体験ができた（銚子溪の滝と河底岩盤、土庄層群の逆断層、沖島）。
- ・行く機会のない沖島を案内してもらえた。
- ・コース外の皇子神社の石をお土産にもらえるなど、小豆島全域の石の説明がされていた。
- ・農村歌舞伎舞台、沖島など興味深い場所に行けた。
- ・珪化木の採取と適度な歩行。
- ・石と地形のつながりがよく分かった。
- ・バスで補足があったので、全体的なボリュームが多かったがとても面白かった。

気になる点：

- ・千枚田は少し上から見渡したかった。
- ・島の食文化（醤油、そうめんなど）にも興味があります。
- ・盛りだくさんすぎて、途中で頭に入らなくなった。
- ・参加者の理解の度合いを考慮した説明が必要。

3. 説明はよかったですか？



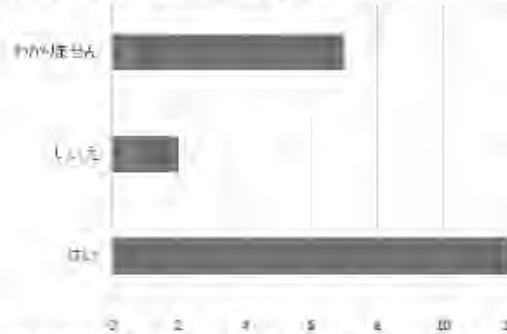
4. どの説明がよかったですか？

- ・どの説明もよかった（3）。
- ・バス内での事前・補足説明が分かりやすくおもしろかった（4）。
- ・肥土山・中山の麦の話。
- ・山口先生の話（2）。
- ・中山歌舞伎保存会会長の説明（4）。
- ・銚子溪
- ・蕪崎断層の説明が具体的でロマンがあった（3）。
- ・塩土と肥土の違いとそれに伴う水利争いの話（4）。
- ・珪化木の説明。
- ・地元の情報がたくさんだった。追いつくのが大変だったが、自分なりにポイントをおさえることができた。
- ・神馬の発見と、小豆島独自の狒犬は30年くらいしか続かなかった話。
- ・マサは伝法川の海辺、肥土山地区は安山岩、中山は地すべりという対比が分かりやすかった。

図9 ジョガイドが案内する讃岐ジオサイト「中山、肥土山地区の農村歌舞伎」アンケート結果

R1, 12, 8
香川大学
長谷川研究室

5. お題「なぜ、中山地区と肥土山地区に農村歌舞伎が残っているのか？」は適切でしたか？



・なぜ中山地区・肥土山地区で水田が可能になったのか？
・なぜ中山地区と肥土山地区は別々に歌舞伎を行うのか？

6. ジオガイドによる説明をよりよくするための改善点を教えてください。

- ・石のお土産や石拾いがあるのは楽しい。
- ・冒頭、讃岐の地形の成り立ちについて、解説があった方がよい。特に、讃岐山脈、瀬戸内火山帯、瀬戸内海の成立順の解説。
- ・最後にお題に対する回答と解説を加えて終了した方がよい。
- ・ガイドによる珪化木のパネル解説があると、もっとお宝さがしが楽しめた。
- ・太田典徳の昔新作「蛙子池」にも訪問できたらよかった。
- ・問いかけを時々入れる (2)。
- ・神社見学を減らす。
- ・次の行き先を直前なり車中なりで説明しておく。何を目的とするか予測がついてよかったのでは？
- ・レジュメと説明をマッチされるように工夫するといいい。
- ・貸切バス移動は時間節約になっていい。
- ・予習が大切なので、講座が始まる前にテーマの連絡をしてほしい。
- ・隊列が長くなり、後が到着前に説明が始まることがあった。全員がそろそろのを待ってほしい。
- ・説明する場所をあらかじめ設定し、聞きやすい環境を整える。
- ・滝に向かう時、ガイドが間に入ればよかった。
- ・説明のポイントを明確にする。お題との関連を意識したものがよい。
- ・お題の答えがよくわからなかった。
- ・地名についていけない。「ヒト」が「肥土」とわからなかった。
- ・最初に地図でどこに行くか話してほしい。

7. その他自由記述

- ・マントル直結型安山岩のジオツアーを期待したい。
- ・珪化木ゲット。ラッキー。楽天で通販しているミュージアムクオリティの珪化木の価格にびっくり。
- ・塞丘八幡神社からの絶景、鏡子溪の滝、沖島などジオツアーならではの訪問先に感動。
- ・予定外で沖島に行けてよかった。行ってみたいところだった。
- ・小豆島は安山岩と思っていたが、他の岩石も多く、魅力的だった。
- ・肥土山と中山の水利権問題を初めて知った (2)。
- ・不勉強ではガイドはできないことが分かった。
- ・トイレの案内が丁寧だった。
- ・景色を見てはじめて気づくことがある。
- ・地質の話と生活・文化の話を割合がちょうどよかった。
- ・山道を歩くときの危険箇所は全員に伝わるように、後の人に伝言したらいい。
- ・讃岐ジオサイト探訪巡回展のようなものを県内数カ所で企画してはどうでしょうか？

図10 ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト「中山、肥土山地区の農村歌舞伎」アンケート結果2

【H31年度 公開講座受講者アンケート集計結果】

ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト

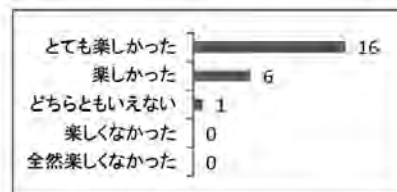
受講生 38名(回答 23名) 実施日:12月8日

(全体)

性別	男性	女性					
	29	9					
年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
	0	1	3	10	8	11	5

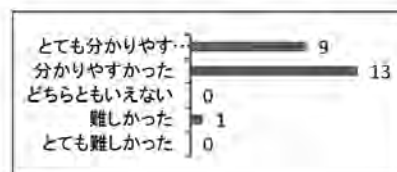
1 講座の感想をお答えください。

とても楽しかった	16
楽しかった	6
どちらともいえない	1
楽しくなかった	0
全然楽しくなかった	0
無回答	0



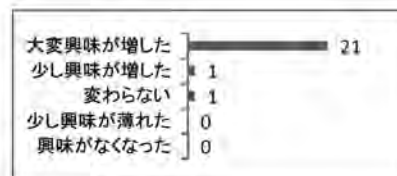
2 内容はよく理解できましたか。

とても分かりやすかった	9
分かりやすかった	13
どちらともいえない	0
難しかった	1
とても難しかった	0
無回答	0



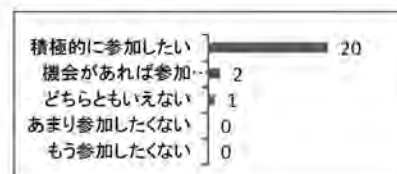
3 テーマへの興味が増えましたか。

大変興味が増えた	21
少し興味が増えた	1
変わらない	1
少し興味が薄れた	0
興味がなくなった	0
無回答	0



4 また参加したいと思いますか。

積極的に参加したい	20
機会があれば参加したい	2
どちらともいえない	1
あまり参加したくない	0
もう参加したくない	0
無回答	0



5 講座の感想など ご自由にお書きください

- ・ネットや本で得る知識で味わえないものがここでは得ることが出来ました。(50代男性)
- ・ジオサイト探訪で、これまで気づかなかったエリアの魅力を知ることができました。ありがとうございました。(50代男性)
- ・座学も設けてほしい。(60代女性)
- ・より理解を深め、また違った視点からのジオツアーをすべく既深訪ヶ所をガイドする企画をしてほしい。(70代)
- ・いつもは個人で車で移動しますが、最終日はバスで全員一緒に移動して、車中の説明もしっかり聞けるので、ツアー形式で皆一緒なのはいいなと思いました。一回の自己負担が大きくなるのが気になりますが、皆一緒がいいです。(50代女性)
- ・ジオサイト見学かと思ったら、やや違った。(70代)
- ・初心者の人に今後興味を持ってもらうために、オリエンテーションで石の種類や見分け方等のレクチャーがあれば良いと思う。(50代男性)
- ・ありがとうございました。(60代)

【希望する講座など】

- ・市や町で活動する人の参加もいただき、コンセプトや苦勞を考える(40代)
- ・地層、地質について深く知るための研修会を希望します。(50代男性)

図11 公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」受講者アンケート結果



香川大学創造工学部主催

ブラハセ×ジオ・アート×讃岐ジオパーク構想 連携推進シンポジウム

ジオパークは大地の成り立ちから、地域の強みと弱みを知り、強みを地方創生に、弱みを防災教育に活用し、地域の持続可能な発展をめざす活動である。本シンポジウムでは、香川大学で取り組んでいる防災まちあるき(ブラハセ)、アートの視点から見た地域振興を讃岐ジオパーク構想と融合させ、地方創生の新たな連携体制の構築を目指します。

- 13:30-13:35 主催者あいさつ 香川大学創造工学部長 末永 慶寛
 13:35-13:40 来賓あいさつ 香川県教育委員会教育長 工代 祐司 氏
 13:40-14:20 基調講演「讃岐ジオパーク構想は何を目指しているのか」
 香川大学創造工学部防災・危機管理コース教授 長谷川 修一
 14:20-14:40 防災・危機管理コース1、2年生による「ブラハセ」事例報告
 一高松市鬼無、高松城下、倉敷市真備町一
 日野田圭祐、国土 真希、福井 文菜
 14:40-15:00 「小豆島農村歌舞伎舞台の風土に根ざした演劇」
 香川大学創造工学部造形・メディアデザインコース講師 柴田 悠基
 15:00-15:05 香川大学公認「讃岐ジオガイド」授与式
 15:05-15:20 休憩
 15:20-16:25 パネルディスカッション
 ブラハセ×ジオ・アート×讃岐ジオパーク構想の連携による地方創生
 コーディネーター: 香川大学経済学部教授 原 直行
 パネリスト : 小豆島狒犬探究会会長 山西 輝美 氏
 伊吹小・中学校講師 篠原 五良 氏
 香川大学創造工学部造形・メディアデザインコース講師 柴田 悠基
 香川大学創造工学部防災・危機管理コース2年生 日野田 圭祐
 16:25-16:30 閉会あいさつ 讃岐ジオパーク構想推進準備委員会委員長 長谷川 修一



農村歌舞伎舞台(小豆島町中山)

令和2年

2月16日 日

入場無料

13:30-16:30

※ 受付は13:00から開始します。

高松市生涯学習センター
まなびCAN

(高松市片原町11番地1:ことでん「片原町」駅から徒歩1分)
 ※ 公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

申込み・問合せ 香川大学創造工学部 長谷川、鶴田
 TEL 087-864-2155, FAX 087-864-2188, E-mail:tsuruta@eng.kagawa-u.ac.jp
 ※ 令和2年2月6日(木)までにお申し込みください(先着200名)。



防災まちあるき「ブラハセ」(高松市鬼無町)



主催:香川大学創造工学部

共催:香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会

後援:香川県、香川県教育委員会、高松市、高松市教育委員会、放送大学香川学習センター、NHK高松放送局、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSOテレビせとうち、四国新聞社、読売新聞高松総局、朝日新聞高松総局、毎日新聞高松支局、国土交通省香川河川国道事務所、(一社)四国クリエイティブ協会、日本応用地質学会中国四国支部、香川県技術士会、香川県防災士会、かがわ自主ぼう連絡協議会

図12 ブラハセ×ジオ・アート×讃岐ジオパーク構想連携推進シンポジウム (令和2年2月26日開催)

参考文献：

- 1) 日本ジオパーク委員会：<https://jgc.geopark.jp/whatsgeopark/index.html> (2020.2.3閲覧)
- 2) ユネスコ世界ジオパーク：<http://www.unesco.org/new/en/natural-sciences/environment/earth-sciences/unesco-global-geoparks/> (2020.2.3閲覧)
- 3) 日本ジオパークネットワーク：<http://www.geopark.jp/> (2020.2.3閲覧)
- 4) 長谷川修一・鶴田聖子・寺林優・高木知巳・前田宗一：讃岐ジオパーク構想，日本応用地質学会中国四国支部平成25年度研究発表会論文集，19-24，2013.
- 5) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学生涯学習研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」，2013.
- 6) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探求」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第22号，2017.
- 7) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第23号，2018.
- 8) 香川県観光協会：<https://www.my-kagawa.jp/shodoshima/feature/shodoshima/art2> (2020.2.3閲覧)